

2019年度 事業報告



一般社団法人 地上放送RMP管理センター
(TRMP)

一般社団法人 地上放送TRMP管理センター 2019年度事業報告

【2019年4月1日～2020年3月31日】

1. 事業報告〔概要〕

TRMP方式に対応した地上デジタル放送（フルセグ）受信機は、スマートフォンやカーナビゲーションシステムを中心に、順調に普及してきている。

一方で、2017年度に発覚したARIB規格外受信機は、いずれもメーカーが設計・開発・製造を海外法人に委託（海外親会社を含む）しているケースであり、調査の結果、関係当事者のARIB規格に対する理解不足に起因していることがわかった。2019年度は、前年度に引き続き、その未然防止策として、新規メーカーとのライセンス契約締結時やTRMP方式搭載受信機のテストベッドなどの機会を捉え、きめ細かく対応した。

また、近年新規にライセンス契約を求めてくるメーカー数は減少し、暗号鍵を発行・管理するサーバー「鍵管理システム」の稼働時間も大幅に低減している。このような状況で、資金負担の大きい「鍵管理システム」については、次期鍵管理システムへの更新を拙速に進めるのではなく、現在運用中の「鍵管理システム」を再リースすることで負担軽減を図った。

2020年度も引き続き、TRMP方式の安定運用という責任を果たし、地上デジタル放送の発展に貢献していく。

2. 各部の事業報告

2-1 技術部

2019年度はTRMP方式の安定運用と信頼性の確保を目標に、効率的な「鍵管理システム」の運用、運用実績に見合ったメンテナンス方法を探りながら、更新計画の具体化に着手し始めた。またTRMP方式対応受信機の普及、拡大のため、新規契約を希望するメーカーへの適切な対応や鍵更新の検討も行った。

① 「鍵管理システム」更新計画（案）の具体化着手

費用対効果を考慮して、ここ数年は「鍵管理システム」を延命してきたが、更新スケジュールやシステム詳細について技術委員会と協力しながら具体化し、作業に着手しなければならない時期にきた。そのため2019年度は、現システムの設計・構築に携わった（一財）NHKエンジニアリングシステム担当者の意見を参考にしながら、技術委員会の検討資料となる更新計画案の作成を始めた。

② 「鍵管理システム」の耐用年数延長及びメンテナンス方法の改善

一方で現「鍵管理システム」については可能な限り延命するため、各端末・機器の最大延命寿命を鑑み、運用実績に見合った適切なメンテナンスを実行した。

③ 契約済みメーカーへの対応

契約に基づき、TRMP方式対応受信機の出荷情報等の確認を徹底した。確実な情報管理を指示し、かつ新しい製造スキーム等に対しアドバイスを行うなど適切なフォローを実施した。ARIB規格外受信機の対応については、メーカーからの定期的な修正台数・修正率の報告や事務所来訪により、修正状況や対応施策の確認等を行った。

④ ライセンス契約への対応とテストベッド提供

ライセンス契約を希望するメーカーに対し、技術的スタンスから説明を行い、総務経理部と連携して適切に契約手続を進めた。ARIB規格外受信機等のトラブルを未然に防ぐため、鍵更新機能等の動作検証を行えるテスト環境（テストベッド）の活用を、契約済みメーカーに促した。

⑤ 技術委員会の運営

技術委員との連携を図り、委員会の適切な運営を図った。「鍵管理システム」の運用、ワーク鍵の更新、旧開発鍵の扱いについても昨年度に引き続き検討を進めた。

2-2 総務経理部

2019年度は、契約済メーカーとの適切な関係維持や、システムの高い安定性と信頼性を確保することに取り組むため、以下の施策を実施し、地上デジタル放送のインフラを支えるコストセンターを意識して、効果的かつ効率的な事業運営に努めた。

(1) 総務関連

① 関連会議の運営

総務経理部が事務局を務める、社員総会、評議委員会、理事会、運営委員会等の運営にあたり、全国の会員社、委員会委員、関係する事業者等と密接な連携を図り、効果的かつ効率的に運営を行った。

② ライセンス契約済受信機メーカーへの対応

TRMP方式の安定運用に向けて、技術部と連携し、契約先の正当性および鍵情報等「秘密情報」の適正管理に留意し、出荷前報告等によるTRMP方式対応受信機の把握に努め、適切な対応・フォローを行うことでトラブルの未然防止を図った。

③ 新規メーカーへのライセンス契約対応等

新規のライセンス契約については、引き続き技術部と連携し、国内外の様々な形態の受信機メーカーに対して、透明性や公平性を確保した上で、個別説明から審査、契約等の対応を機動的かつ厳正に行い、適正なライセンス契約の締結に向けて取り組んだ。

④ TRMP管理センター業務内容の見直し

これまで蓄積してきた、メーカー対応のノウハウやコンテンツ保護に関連する各種情報をベースに、技術・契約・情報管理・提供等の事務局機能の整理・充実を図るために、技術部と連携し、適宜業務内容の見直しを行った。

⑤ 周知広報活動の実施

TRMP管理センターの透明性、公共性を確保した事業運営について、ホームページの活用を通じて、的確な周知広報活動を行った。

(2) 経理関連

2019年度は、TRMP方式に対応した受信機の安定運用及び信頼性確保に資するため、予算を的確に執行するよう、適正な会計処理を徹底した。また、今後の事業動向を踏まえ、予算管理を厳格に行い、適宜運営経費の精査を行い、監査への確実な対応に努めた。

2-3 その他

TRMP管理センターの透明性、公益性、非営利性の確保に向けて、常に、コンプライアンスとガバナンスを意識し、評議委員会を活用した法人運営に努めた。

以上

(参 考)

定款上の事業	事業内容
コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報のライセンス発行	<ul style="list-style-type: none">受信機メーカーへのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務放送事業者へのコンテンツ権利保護専用方式に係る鍵情報ライセンス契約の調整、契約に関する業務
コンテンツ権利保護専用方式の鍵情報の管理、更新及びデータベースの運用	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る鍵管理システムの開発、調達に関わる業務コンテンツ権利保護専用方式に係るテストストーリーム、テスト鍵の発行に関わる業務
コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式に係る秘密情報漏えい・不正受信機の調査、検証及び対策に関する検討
コンテンツ権利保護専用方式の周知・広報	<ul style="list-style-type: none">コンテンツ権利保護専用方式の周知・広報に関わる業務
上記業務に付帯する業務	<ul style="list-style-type: none">運営委員会の運営評議委員会の運営関係事業者との連絡、調整、経費支払い関係事務

3. 会員の状況及び法人の運営

3-1. 会員の状況

区 分	2018年 3月31日現在	2019年 3月31日現在	2020年 3月31日現在
正 会 員	1 2 9 社・法人	1 2 8 社・法人	1 2 8 社・法人
賛助会員	1 社・法人	1 社・法人	1 社・法人
合 計	1 3 0 社・法人	1 2 9 社・法人	1 2 9 社・法人

3-2. TRMPの運営

2019年度に開催された公式会議については以下の通り。

	回 数	開催日
総 会	第 14 回	2019年6月26日
理 事 会	第 54 回 (メール)	2019年4月1日
	第 55 回	2019年5月20日
	第 56 回 (メール)	2019年5月31日
	第 57 回 (メール)	2019年6月17日
	第 58 回	2019年6月26日
	第 59 回 (メール)	2019年9月3日
	第 60 回	2019年12月3日
	第 61 回	2020年2月26日
運 営 委 員 会	第 32 回	2019年5月17日
	第 33 回	2019年11月21日
	第 34 回	2020年2月18日
評 議 委 員 会	第 9 回 (中止)	

※上記の他、技術委員会を開催した。